

第5次武蔵野市民地域福祉活動計画策定委員会（第9回）会議要録

- 1 日 時 令和7年3月5日（水）18時30分から20時10分まで
- 2 場 所 武蔵野商工会議所5階 第1、2会議室
- 3 出席委員 阿部、市川、和、熊田、見城、酒井、佐藤、鈴木、西田、福本、
町田、宮田、山田、吉田（敬称略）
- 4 欠席委員 坂井、馬場（敬称略）
- 5 事務局 福島（常務理事）、田村（事務局長）、ほか事務局職員
- 6 傍聴者 1名
- 7 議 事

（1）事務局より

事務局より、配付資料の確認及び傍聴者の出席を報告した後、主管課より武蔵野市地域支援課の福山課長および林課長補佐が出席することを伝えた。

（2）委員長挨拶

【委員長】 事務局より話があったとおり、今日で策定委員会は9回目ということで、今日が最後の委員会になります。基本的には大きな修正はないと思いますが、内容に関して修正が必要な箇所がありましたら、ぜひおっしゃっていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

（3）議 事

①第8回策定委員会 会議要録確認 資料1

【委員長】 資料1 第5次武蔵野市民地域福祉活動計画策定委員会（第8回）会議要

録を確認し、意見や訂正等があれば修正いたしますが、いかがでしょうか。

なお、委員会終了後の校正依頼は、3月12日（水）までに事務局まで連絡ください。

※委員からの意見等はなかった。

②第5次武蔵野市民地域福祉活動計画(案)について 資料2、3

【委員長】 第5次武蔵野市民地域福祉活動計画(案)について、事務局より説明をお願いします。

※資料2、3に基づき事務局より説明した。

【副委員長】資料3の策定委員会の取扱いという表現でない方が良いかと思えます。通常、取扱いというのは、取扱説明書などに一般的に使われる言葉です。この表現だと一生懸命考えてくださった方々に私は失礼だと思います。回答だと質問に対してきちんと答えなくてはいいませんが、返答だといただいた意見、質問に対して反応し、返事をするということなので、返答で良いのではと考えます。その他、意見があればお願いします。

【委員】東京都社会福祉協議会では、パブリックコメントを取ることがそもそも少なかつたりしますが、割とコメントと書きがちだと思います。

【委員】市の計画でいえば、まさに策定委員会取扱い方針と書くのが一般的ですが、必ずしもそれに合わせる必要はないと思います。

【事務局】コメントという表現は、間違いではないかと思えます。パブリックコメントに寄せられた意見は、中間のまとめに対してご意見をいただいております。それに対して最終的な計画として、どのように取り扱うのか、それを回答または返答することだと思います。そのため、単にコメントをするというものではないので、その他、意見をいただければと思います。

【副委員長】今、お話のあったようにやっていることは取扱いだと思います。しかし、それをそのまま取扱いというふうに出してしまうと、最初に言ったように一般的に取扱いというと、市民の私たちは取扱説明書のようなイメージを持ってしまおうと思いますので、他に適切な表現がないかと思っています。

【委員長】要するに、意見に対してどのように取り扱うかを返答することだと思います。つまり、意見要旨に対して市民から出された意見を受けて、どのように取り扱うかということについて返答することが正確な言い方になると思います。この意見要旨への市民の意見を策定委員会が受け止めて、それをどのように意見要旨を取り扱うかということについて返答しますということになるので、そういうような形で正確に書けば誤解はないということになりますが、いかがでしょうか。

【事務局】健康福祉総合計画では取扱い方針という形ですが、一番直近の調整計画では、策定委員会の考え方という表現になっているので、様々な記載の方法があるかと思えます。

【副委員長】決まりはないということですね。ただ一点違うことは、行政の計画ではなく、市民社協の計画なので、私も武蔵野市民として、一生懸命時間と頭も使って文

章も直しながら出した内容に対して、武蔵野市民が納得できる適切な表現はないのだろうかと思っています。

【委員】 受け止めるということが表現されていれば良いのですよね。折衷案としては、「策定委員会の受け止めと返答」ではいかがでしょうか。

【委員長】 他の委員の方がご賛同いただければ、先ほど意見の出た「策定委員会の受け止めと返答」でいかがでしょうか。意見がないようですので、「策定委員会の受け止めと返答」という形で、記載を変更します。

【委員長】 **資料2**58 ページに「私も推薦します！」とありますが、私以外の方の推薦の方が望ましいと思います。策定委員にも関わらず、推薦するのはおかしいので、変更した方が良いと思います。例えば市民社協の会長であるとか、この計画に関わっていないけれど、大事な役割を果たされている方に推薦をいただくというのが筋だと思います。

【副委員長】 同じような形でこのようなものがあると良いと思います。

【委員長】 この帯のような表現自体はすごく素敵だなと思いますので、ぜひ、進めていただければと思います。

あともう一点、**資料2**2 ページ「計画に参加いただきたいのは「すべての市民」です」の5行目「すべての市民」は、住民や仕事等により武蔵野市で暮らす人であり、となっていますが、下の段落で人々という表現があり、語呂が良くないと思います。例えば、「武蔵野市で暮らし、年齢・世代を問わず、障がいの有無や国籍に関係なく、このまちで暮らすすべての人々です。」という表現の方が良いかと思います。もし問題がなければこういった感じの、暮らし、人ではなくて暮らしにしていただければと思いました。

【副委員長】 「住民や仕事等」という部分は、問題ありませんか。

【委員長】 そこも暮らすのか仕事なのかというところは引っかかっているのですが、ただ暮らすことの要素は何かとなると、「そこにいること」ということはもちろんですけれども、働くことも暮らすことの一部だろうというように解釈すれば、ここで説明のような内容を入れるとくどいかなと思いました。

【副委員長】 助詞でその文章の意味合いが異なる捉え方になることもあつたりするので、委員長から暮らすは住んでいることと仕事をすることも両方まとめて暮らすという表現で良いのではという意見でしたが、今、委員長はこの語呂が悪いという意見を踏まえると、確かに語呂が悪いと思いました。

【委員】 暮らしがかぶりますよね。

【委員長】 これがかかっているのは住民や仕事等で、住民というのと、仕事等というの、仕事により武蔵野市で働きという形ですかね。

【副委員長】 最初に年齢や世代をまず規定し、「すべての市民というのは、年齢・世代を問わず、障がいの有無や国籍に関係なく、このまちで住み、仕事をしている人」ということです。

【委員長】 本計画が想定する「すべての市民」は、年齢・世代を問わず、障がいの有無や国籍に関係なくで、まず属性のことをここで話し、その後に関係なくこのまちで暮らし、働くすべての人です、のような感じにするとおさまりが良いかと思えます。

【委員】 **資料2** 58ページの帯の件ですが、表側にあった方が良いかなと思います。計画書の冊子が平積みで置かれた場合、少しでも手に取りやすいかと思い、このような帯という意見を出しました。とても素敵なものを作っていたのですが、表側にあった方が市民の手に取ってもらいやすいかなと思いました。

2点目に気になった点が、**資料2** 3ページ、武蔵野市民社会福祉協議会発展・強化計画というのが何か所かにあります、用語集の説明では、市民社協発展・強化計画の説明になっています。この用語集は、現在の説明で良いのか、次につなげる方の第2次市民社協発展・強化計画の説明をした方が良いのか、委員会や事務局の方で考えていただきたいです。

3点目は、**資料2** 2ページの「この計画を手にとってくださったみなさま」これも良いと思いますが、みなさまへのような意味合いなのかなと思って、「へ」がつくと表現が柔らかくなるかなと思いました。

4点目は、**資料2** 10ページ **近隣のつながり**の上から4つ目の●で、「私立学校に通う子育て世帯が地域活動に加わっていない」という表記がありますが、このような表現が地域や地域懇談会であったのかもしれませんが、私学に通っていると地域情報のチラシなどが公立小中学校と同じように配られない印象がありますので、地域活動に加わっていないのではなく、参加しにくい状況があると思います。そのため、表現が違うかと思えます。

【委員長】 ありがとうございます。幾つかご指摘をいただきました。

まず一点目が、帯のところを後ろから前にとということですが、これはかなり大きな選択かと個人的には思います。理由は、計画のタイトルと誰がいつ

作成したかということをもまず載せるというのがこの表紙のところでは重要な情報だからです。加えて、例えば私も推薦しますというのが仮に市民社協会長が実際に入ると、非常に多くの情報が入ってくる感じになるので、それがいいかどうかというところがあります。

【副委員長】 委員長と私で話をしたのは、行政の計画と違い、内容については市民が実際に活動するために必要なものをみんなでこうやって柔軟に精査いくことは可能だけれども、表紙と裏表紙に関しては小説などとは異なるので、この計画に対しての表紙、裏表紙について、市民社協はどのように考えていますか。

【事務局】 まず、一点目ですけれども、**資料2**の表紙に「第5武蔵野市民地域活動計画策定委員会」との表記になっておりますが、実際には「武蔵野市民社会福祉協議会」として発行させていただきたいと思っています。それを踏まえて委員長、副委員長からの質問ですけれども、内部でも見解が統一できているわけではないのですが、体裁の部分は、検討したいと思っています。例えば、現在の案である「私も推薦します」という形で委員長の写真が入っているような形式ですが、それを表面に持ってくるというところでは、事務局の考えとしては判断が難しいところではあります。ただ、策定委員会で様々なご意見をいただいておりますので、そこの辺りをどうしてもこの形でいきたいということがあれば、それを踏まえて再検討させていただければと思っています。

【副委員長】 「武蔵野市で暮らすすべての人に読んでほしい計画です。」を斜め上に入れる形はどうでしょうか。

【事務局】 ある程度目立つ形にしてこんな計画があると、手に取ってほしいとそのような趣旨かと思います。デザイン的には画期的ではありますがけれども、目立つ形で、ただ、帯というのは、帯をかけるわけではないので、帯ととっていただくかどうかもなかなか難しいと思います。なので、ちょっとデザインはお任せいただいて、特にこの裏面の「すべての人に読んでほしい計画です。」という趣旨は活かしたうえで、帯のようなデザインを考えさせていただければと思っています。

【委員】 話のあった通りで良いと思います。私が思ったのは、印刷物として帯を発注しなくても別にボランティアの方々に手伝っていただいて、手作りの帯を作ってかけることもできるかなと思いました。そこが一つの参加のきっかけにもなるのかなと考えます。

【委員長】 ありがとうございます。そういう意味では、デザインとして帯にするという方法もありますし、別の方法として、リバーシブルにして見てほしいときは裏面を置くというようなやり方もあると思います。ただ、正式なものとしては、やっぱり表面はちゃんと公式の計画書のものとしてはあった方が良くないと個人的には思います。先ほどの話のように、実際に何部かは帯をかけてみると、その帯をかけるときに、例えば住民の方のお力添えを得てそれを作るというやり方も一つの方法としてあると思います。最終的にはそこをどうするかというところは、事務局と委員長、副委員長預かりにさせていただければと思います。

次に資料2 3 ページのところの市民社協発展・強化計画のここはどういう関係性なのかということを示しておりますが、第2次市民社協発展・強化計画というのが一番下についているのに、上のところではついていないので分かりにくいというのではないかということと、これに関連して用語集では、第1次の話をしているのではないかということだと思えます。要するに第2次の話、第2次を策定しますという中身のことが踏まえられた方が良くというご意見かと思えます。確かに整合性を図るという意味では、第2次というようにしているところは、例えばこの民間計画のところでは第5次というように本体計画の方では付いているということ考えたときに、第2次と付けた方が確かに連動性としては良いのかなと思えます。そこは調整をさせていただきます。

【事務局】 これは関係図なので第5次が入っている方が間違いかと思えます。計画関係図なので、下の計画期間で見ていただくと第5次地域福祉活動計画については1次または2次と重なる部分もあります。どちらも発展・強化計画には変わらないという趣旨ですので、当初は今回作っているのは5次なので、この計画に対してどういう関係にしたいという想いがあったのだらうと思えますが、その意味でいえばこの関連イメージについては数字が入っていない方が正しいと思っています。

【副委員長】 その意味で言うと、資料集のほうの説明についても、時間軸ではなく、この発展・強化計画とはという点に集中した説明で良いということですか。

【委員長】 まず、資料2 3 ページのところの民間計画の第5次は削除ということでもよろしいですか。ただ、下のところの計画の期間については、武蔵野市民地域福祉活動計画及び発展・強化計画の番号をふっていくという形になるということですね。用語集は、基本的に、そもそも発展・強化計画というのは、どのよう

なものなのかということの説明するところではあるので、そこを意識した形の書き方に内容を変更するといいいのではないかと思います。もし同意いただける形であれば、そのように修正させていただきます。

それでは、**資料2**10ページのところの上から4番目の●の「私立学校に通う子育て世代が地域活動に加わっていない」ということの、加わっていないという表現を柔らかくしてはどうかという意見だと思いますが、いかがでしょうか。

【副委員長】 私立に通っている子どもを持っている人を主語にするのか、そうじゃない人を主語にするのかによってこの書き方は違ってくると思います。けれども、先ほど話のあった現状の話の聞くと、参加しにくい程度の方が良いのかなと思うのですが、いかがですか。

【委員】 その辺りが良いかなと思います。

【委員長】 それでは、ご意見のあった「加わっていない」ではなく、地域活動に参加しにくいという表現で修正させていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【副委員長】 **資料2**14ページ下から3番目の「◆SNSによる地域活動の～」の発信が足りていないという表現に変更したとありますが、私としては、発信が十分ではないという方が良いと思いますが、いかがでしょうか。

【委員長】 難しい人や内容をよく知らない人にも伝わりやすいように配慮した「発信が足りていない」のではなくて、「発信が十分とは言えない」表現にしたいということですが、いかがでしょうか。意見が他になれば、そのように変更するというのでよろしくお願いいたします。

【副委員長】 **資料2**21ページのところを、前回意見をいただきながらフィットネスジム、学校等の表現をもう一回、改めて皆さんにこれでいいか確認をしていただきたいです。加えて、**資料2**20ページ**現状**下から1つ目の「●武蔵野市には～」で、計画なので音楽活動を行っているという表現の方が良いかと思い、この表現にしたのですが、いかがでしょうか。

【委員長】 ありがとうございます。まず、**資料2**20ページから見ていきますが、演奏やコーラス等の音楽活動をやっている人が多くいますというのを、行っている人が多くいますに変更した方が良いのではないかというご意見ですが、ここはよろしいですか。では、ここはやっているではなくて行っているにさせて

いただきます。あと、資料2 21ページのところですけれども、特に推し進めたいアクションのその2のこの表現や到達目標のところの問題ないかということを確認ということで、何かお気づきの点等ありましたらお願いいたします。

【委員】 全体的なところになりますが、資料2 19ページ、21ページ、23ページの実施主体別の課題解決に向けたアクションの推し進めたいアクションというのが幾つかあって、そして団体というつながりづくりを進める団体とか、特定の課題に取り組んでいる団体とか個別にまた目標がありますが、この分け方がどうも、その特定の団体だけなのか、もっと全般的なことなんじゃないかなと思います。今さらに申し訳ないのですが、団体とその内容が本当にこれで良いのかなというところが、疑問になりました。

【委員長】 ありがとうございます。今の段階なので、可能であれば具体的な対案を出していただけると助かります。最終的には委員長、副委員長預かりで調整します。

【委員】 団体という表現が引っかかります。

【委員長】 団体でなければ、どのような表現が良いと思いますか。

【副委員長】 グループとか。

【委員】 塊じゃなく、個でもあるという表現があれば。

【委員長】 取り組んでいる人にするかですね。それだと大きな変更にはならないと思いますが。

【委員】 これは、つながりづくりを進める団体と特定の課題に取り組んでいる団体は分ける必要がありますか。

【委員長】 これは私の個人的な解釈ですが、つながりをつくるということと課題を解決することというのは、違うのではないかと思います。なので、つながりをつくる、まずは横のネットワークをつくっていくというような、例えば団体には具体的なアクションを進めていく何か、例えば生きづらさを抱えている人とかそういういったところにアプローチをしている取組みをやっている団体にはこういうことをやりましょうということで、ここは整理をしたのだと思います。その意味では、ここの様式そのものはこれでいいのではないかと思います。これを両方やっている団体もあると思いますが、その場合は二つ詰めれば良いという理解になるかと考えます。

【委員】 案としてなんですけれども、一番左側のすべての市民、活動に参加している人というところの対応関係にして、右の団体のところも人とする、というのは

いかがでしょうか。

【委員長】 ありがとうございます。いろいろとやり取りが出ている中ではありますが、他はいかがでしょう。

【委員】 対案があるわけではありませんが、なぜこうなったのかということを考えた時に、議論の中で支援組織とかNPOとか専門性を持って活動している人に関して、支援組織が分かりづらいというような議論になり、特定の課題に取り組んでいる団体となったのではないかと記憶しています。その流れからすると、私は違和感はないかとは思いますが。

【委員長】 ありがとうございます。確かに支援組織のことが上で、NPO法人など特定課題に取り組んでいるところは下というのが最初で、そこからNPOとか言っても分かりにくいという話から今の形になったということですよね。

【事務局】 実施主体の設定に関しては、[資料2](#)12ページに記載をしています。

【委員】 このアクションのところだけを見ると、これを明確に分けて、それに対するアクションというのを一つずつ考えていたわけではなかったと思いますが、[資料2](#)12ページに記載もあるので、問題はないかと思います。

【委員】 今のことに関連してですが、前のほうに書いてあるけれども後ろしか読まない人は絶対にいると思います。例えば、[資料2](#)14ページに全地域での取組の場所の空いているところに、用語の説明や表についての説明は11ページからの計画の概要をご覧ください等、一言加えておくことができれば、解決できるかなと思います。

【事務局】 説明文に誘導できるように、何か工夫をしたいと思います。

【委員】 フォントを今回UDフォントに変えられていると思うのですが、各タイトルのゴシックは、多分UDではないかなと思っていて、これは見やすいからUDを採用されていないということなのか、このゴシックもUDフォントということなのか、その辺りの見解を教えてください。

【事務局】 ご指摘のとおり、今回からUDフォントに修正をさせていただきました。スペースを詰められたことも含めて今回から使用していますが、タイトルのところもUDフォントになっています。ただ、もともと入っているものがこのゴシック体か、明朝体の2種類しか選択肢がなく、取り急ぎ仮案で入れさせていただいたものになります。実際にはもう少し見やすいUDフォントをデザイン業者とともに相談をさせていただきたいと思います。

【委員】 資料2 10ページの括弧についての取扱いです。例えば「地域の高齢者に関して」の一番下の●で「高齢者が集まる場所が徒歩圏内にない（または遠い）。」とありますが、ここは、句点の前に括弧閉じという形になっています。逆に、「地域の高齢者に関して」の一番上の●は、「（電話に出ないことや個人情報の壁がネック）」という、これは若干、使い方が意図を持っているような気もするし、ただ一般的には多分、句点の前に入れることのほうが多いように思うんですが、逆のパターンのほうが多いです。例えば資料2 21ページの真ん中の例示「地域で自然に顔がつながる場、憩いの場をつくる。（例～）」みたいな形であるのも少し違和感があるなと思っています。あまり専門家ではないので詳しくはないのですが、どちらかという句点の前に揃える方が良いのか、あるいは意図があってこのように分けられているのか、何かご意見のある方とか、あるいは事務局の方の見解をお聞かせいただければと思います。

【事務局】 ありがとうございます。この点に関しましては、今、お話のあったように、統一ができればと思います。

【委員】 最後に資料2 56ページ二次元コードの説明に二次元バーコードという記載がありますが、二次元コードというのが正しい表現なので、直してください。

【委員長】 ありがとうございます。ここは修正でお願いいたします。

【委員】 今後、PDFなどでホームページとかで掲載されると思うんですけども、テキストデータでの準備も是非していただければと思います。視覚障害のある方は、やはり読み上げソフトで、テキストが一番望ましいと日頃から言っているのでよろしくお願いします。また、図式がちょっと分かりづらいので、その辺りも何か配慮があると良いなという話をよく伺っております。

【委員長】 ありがとうございます。計画の内容についてはユニバーサル仕様にしていただくようお願いできればと思います。

【委員長】 それでは、③計画書(冊子)の作成と計画の周知について事務局より説明をお願いします。

※資料4に基づき事務局より説明した。

【委員長】 計画書の作成とその周知についてということで、これはもう意見というよりは確認になるかと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、こういった流れで進めていきますので、よろしくご説明いたします。

【委員長】 最後に(4)その他について事務局より説明をお願いします。

※事務局より今後の流れの説明および挨拶

【委員長】 それでは、昨年7月から3月まで策定委員会を開催いたしました。この計画の完成をもちましてご容赦いただきながら、今後ともこの計画を実現するためにお力添えをいただくとありがたいと思います。計画策定に当たってお力添えをいただきまして、どうもありがとうございました。以上で、第9回第5次武蔵野市民地域福祉活動計画策定委員会を終了します。